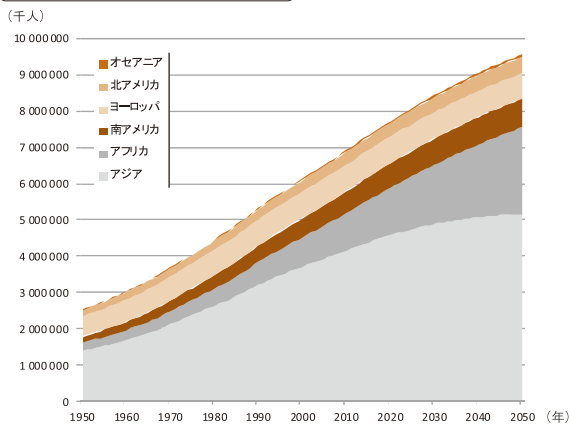


# 8 基礎資料等

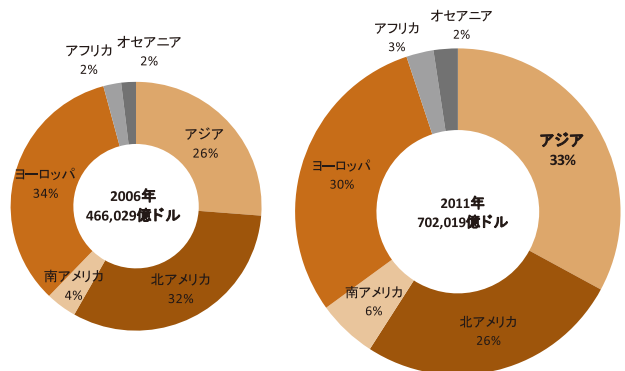
## (1)世界の人口・国内総生産

図 1-1 世界の人口の推移



出典：国際連合「世界の推計人口」  
※2010年までは実績値、以降は推計値

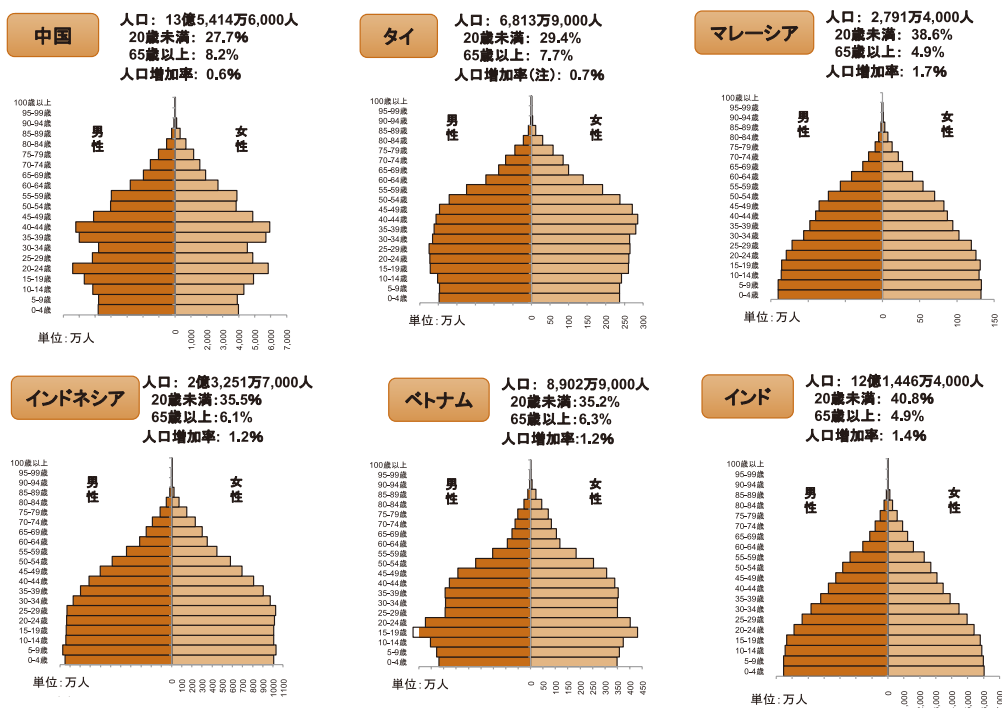
図 1-2 世界の国内総生産



出典：総務省統計局「世界の統計」

- ・世界の人口は増加の一途を辿っており、アジア・アフリカの割合が増加する見込みである。
- ・世界全体の国内総生産を2006年と2011年で比較すると、アジアの割合が増加している。

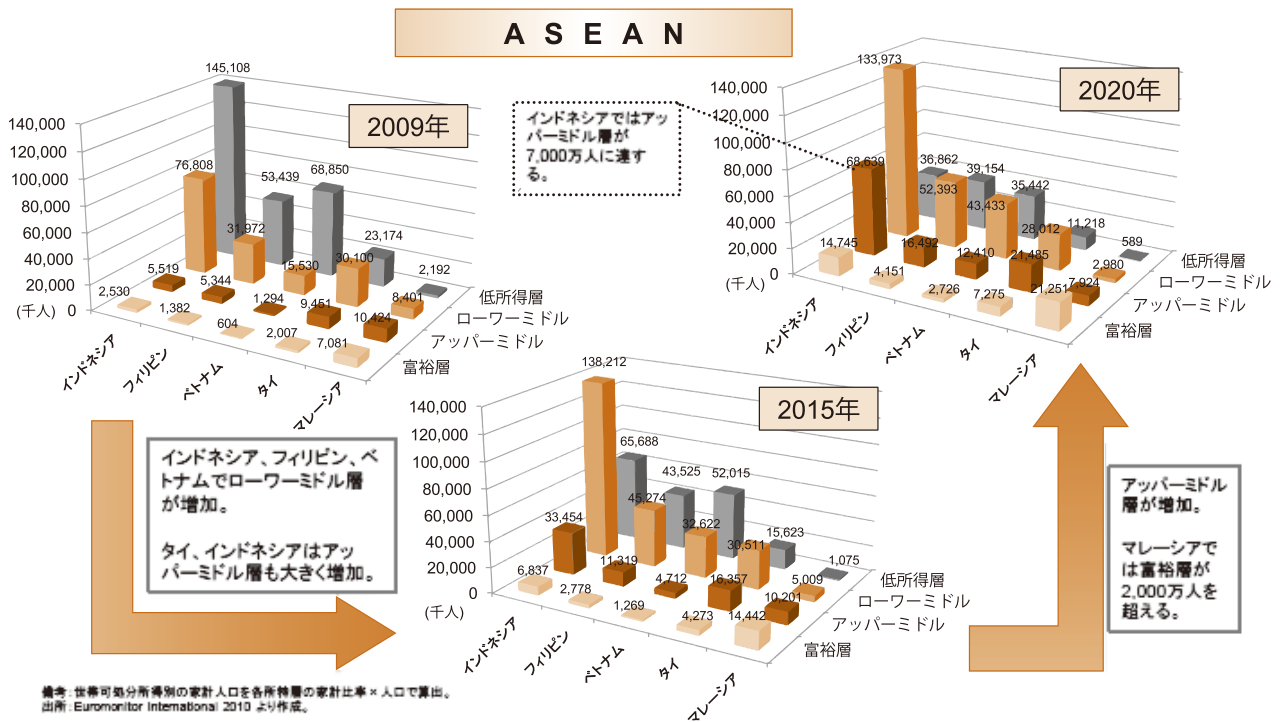
図 1-3 アジア各国の人口構成（2010年）



転載：ジェトロ海外情報ファイル(J-FILE)(<http://www.jetro.go.jp/world/>)から転載

- ・タイ・中国は、20歳未満人口は30%以下。若年層人口の割合は少なく、高齢化社会に入っている。
- ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・インドは「人口ボーナス」の恩恵を受けやすい国でもあり、今後の市場としての成長が期待できる。

図 1-4 拡大するアジアの中間層



(注)低所得層 : 世帯可処分所得 年間 5,000ドル以下  
 ローワーミドル: 世帯可処分所得 年間 5,000ドル以下  
 アッパーミドル: 世帯可処分所得 年間 15,000ドル超 35,000ドル以下  
 富裕層 : 世帯可処分所得 年間 35,000ドル超

転載: ジェトロ海外情報ファイル(J-FILE)(<http://www.jetro.go.jp/world/>)から転載

・アジアでは中間層が拡大し、インドネシアでは 2020 年にはアッパーミドル層が 7,000 万人近くに達する見込み。

表 1-1 主要国の概要

国名	概要	言語	宗教
中国(本土)	世界最大の約13億人の人口を有する。高成長が継続している一方、都市と農村の格差拡大や環境汚染などの課題も抱えている。労働単価が上がりつつあることから、今後は国内消費の拡大が中国の成長を左右する。訪日旅行者の国別内訳では2009年に台湾を抜き、第2位となっている(2011年)。	漢語 (中国語)	仏教・イスラム教・キリスト教など
中国(香港)	人口は約700万人。簡素で低率の税制を基礎として、国際金融及び物流の拠点としての地位を築いている。	広東語、英語、中国語(北京語)ほか	仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教
韓国	人口は約5,000万人。訪日旅行者の国別内訳は第1位となっている(2011年)。国土が狭く、資源が乏しいことから外需への依存が高い。政府方針としてテレビや音楽等のメディアを使ったカントリーイメージの向上を進めている。	韓国語	宗教人口比率53.1%(うち仏教:42.9%、プロテスタント:34.5%、カトリック:20.6%、その他:2.0%)社会・文化に儒教の影響を色濃く受ける。
台湾	人口約2,300万人。中国、韓国に続き訪日旅行者数で3位である(2011年)。日本文化も浸透している。日本とは電子機械での輸出入が活発であり、それに伴った生産技術の導入が図られている。	北京語、福建語、客家語等	仏教、道教、キリスト教
シンガポール	人口約500万人。多民族国家であり、国民の構成比の内、外国人が占める割合が高い。輸入への依存が高く、世界経済情勢の影響を大きく受ける。	国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語。	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
タイ	人口は約6,600万人。国民の約95%が仏教徒である。北海道の知名度も高く、親日国。外資系企業の進出を奨励しており、各種奨励・優遇処置を整備しているなど、環境が整っている。所得の拡大から質を重視する傾向にある。	タイ語	仏教 94%、イスラム教 5%
マレーシア	人口は約2,800万人。イスラム教が国教。マレー系、華人系など民族別に消費嗜好に違いがある。スズ、金、鉄、ボーキサイト等の鉱物資源が豊富であり、石油、天然ガスの輸出国である。富裕層・アッパーミドル層が増加しており、一人当たりGDPは2015年に1万ドルを超える。2020年までの先進国入りの目標達成に向けて取り組んでいる。	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語	イスラム教(連邦の宗教)(61%)、仏教(20%)、儒教・道教(1.0%)、ヒンドゥー教(6.0%)、キリスト教(9.0%)、その他
フィリピン	人口は約9,400万人で、そのうち90%がキリスト教徒である。日本との関係は良好で、大きな政治的懸案事項は存在せず、活発な貿易、投資、経済協力関係を築いている。人件費が低く今後はタイや中国からの外資系メーカーの生産拠点の分散が期待されている。海外送金が消費を下支えしている。	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。	ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教徒が10%。イスラム教は5%(ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)
ベトナム	人口は約8,900万人。国民の約80%は仏教徒である。人口に占める若年層の割合が非常に高い。高い経済成長で市場が拡大しており、中間層が増えつつあることから、今後の個人消費の拡大に期待が高まる。	ベトナム語	仏教、カトリック、カオダイ教他
インドネシア	人口は世界第4位の約2億4,000万人。国民の80%以上がイスラム教徒である。親日度も高く、日本のポップカルチャーも人気である。中間層が拡大しており、一人当たりのGDPは3,000ドル(2011年)にまで上昇。	インドネシア語	イスラム教 88.1%、キリスト教 9.3%(プロテスタント 6.1%、カトリック 3.2%)、ヒンズー教 1.8%、仏教 0.6%、儒教 0.1%、その他 0.1%
ミャンマー	人口約5,200万人。2010年に民政移管を果たした。安い人件費と豊富な労働力から、外資系メーカーの生産拠点先として注目を集めている。	ミャンマー語	仏教(90%)、キリスト教、回教等
インド	人口は世界第2位の約12億1,000万人である。人口の約8割がヒンドゥー教徒であり、食事を提供する際は留意する必要がある。BRICsの一角として IT分野などを中心に経済成長が著しい。	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21	ヒンドゥー教徒80.5%、イスラム教徒13.4%、キリスト教徒2.3%、シーク教徒1.9%、仏教徒0.8%、ジャイナ教徒0.4%
モンゴル	人口は約300万人。平成20年の世界的な金融危機を受け、マイナス成長となったものの、鉱物資源分野の順調な発展と、鉱物資源の国際相場の回復によって内需が拡大したことにより、経済成長率の回復を果たした。	モンゴル語(国家公用語)、カザフ語	チベット仏教等(社会主義時代は衰退していたが民主化(1990年)以降に復活。1992年2月の新憲法は信教の自由を保障。)
ロシア	人口は約1億4,300万人。親日感情を抱いている人が多い。経済はエネルギー資源の輸出に依存しているため、天然資源の原油価格の動向に大きく左右される。	ロシア語	ロシア正教、イスラム教、仏教、ユダヤ教等

出典:(言語、宗教)外務省 HP「各国・地域情勢」

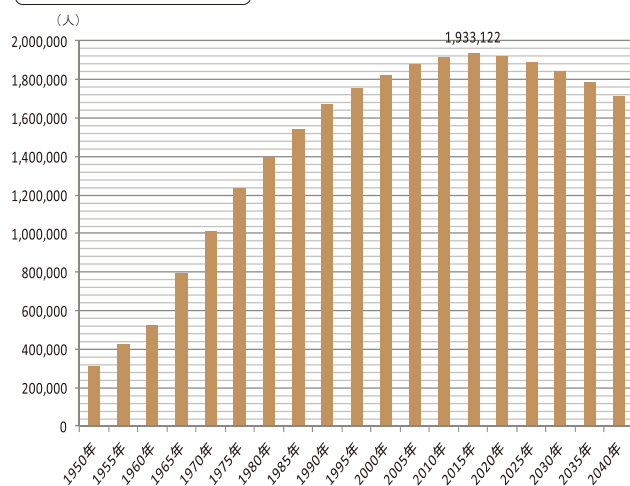
表 1-2 主要国の人口・経済に関するデータ

国名	人口(千人)		平均年齢		出生率(%)		一人当たりGDP		実質経済成長率(%)		人口推計(千人)		人口増加率(%)
	2010年	2010年	2010年	2040年	2005-2010年	2006年	2011年	2006年	2011年	2020年	2040年	2020年-2040年	
中国(本土)	1,359,821	34.6	45.9	1.63	2,158	5,439	12.7	9.2	1,432,868	1,435,499	0.2%		
中国(香港)	7,050	41.1	52.3	1.03	27,796	34,161	7.0	5.0	7,550	8,004	6.0%		
韓国	48,454	37.8	50.6	1.23	20,136	23,067	5.2	3.6	50,769	52,270	3.0%		
台湾	23,162	-	-	-	16,451	20,101	5.4	4.0	23,614	22,712	-3.8%		
シンガポール	5,079	37.3	47.1	1.26	33,049	50,087	8.8	4.9	6,057	6,904	14.0%		
タイ	66,402	35.4	48.5	1.49	3,282	5,318	4.9	0.1	67,858	65,520	-3.4%		
マレーシア	28,276	26.1	37.4	2.07	6,119	9,977	5.6	5.1	32,858	39,850	21.3%		
フィリピン	93,444	22.3	29.2	3.27	1,403	2,370	5.2	3.7	110,404	143,516	30.0%		
ベトナム	89,047	28.5	42.8	1.89	725	1,392	8.2	5.9	97,057	104,155	7.3%		
インドネシア	240,676	26.9	35.5	2.50	1,586	3,495	5.5	6.5	269,413	311,334	15.6%		
ミャンマー	51,931	27.8	38.1	2.07	297	1,144	13.1	5.5	56,125	59,410	5.9%		
インド	1,205,625	25.5	34.1	2.66	819	1,528	9.3	6.9	1,353,305	1,565,509	15.7%		
モンゴル	2,713	25.7	33.3	2.37	1,321	3,060	8.6	17.3	3,114	3,587	15.2%		
ロシア	143,618	38.0	43.2	1.44	6,898	13,006	8.2	4.3	140,011	127,005	-9.3%		

出典:(人口、平均年齢、出生率)国際連合「世界の推計人口(2012年)」  
 (一人当たりGDP、実質経済成長率)国際連合「国民経済計算データベース」  
 ※台湾については、国際通貨基金「世界経済見通しデータベース」及び台湾行政院のデータを基に作成

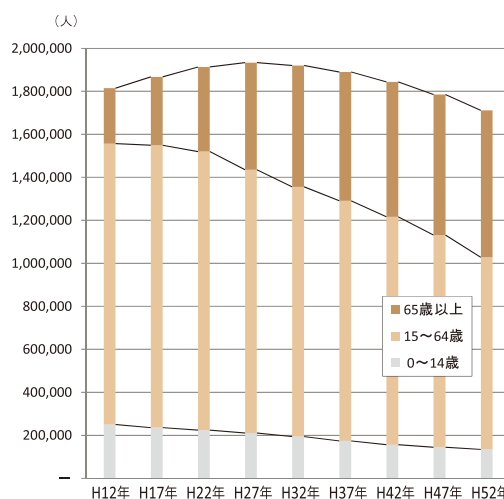
## (2)札幌の人口の状況

図 2-1 人口の推移



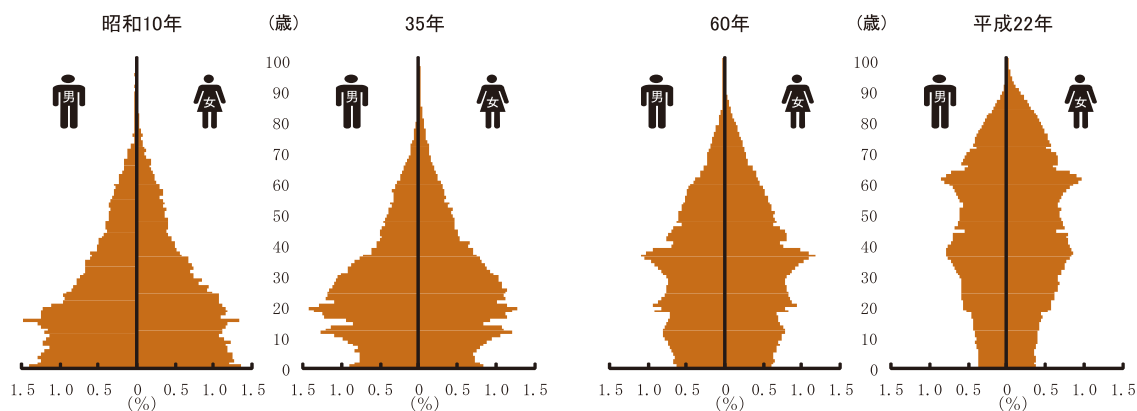
出典：札幌市、国立社会保障・人口問題研究所  
 ※2015年以降は推計値

図 2-2 人口の将来見通し



出典：札幌市、国立社会保障・人口問題研究所  
 ※平成 27 年以降は推計値

図 2-3 人口ピラミッドの推移

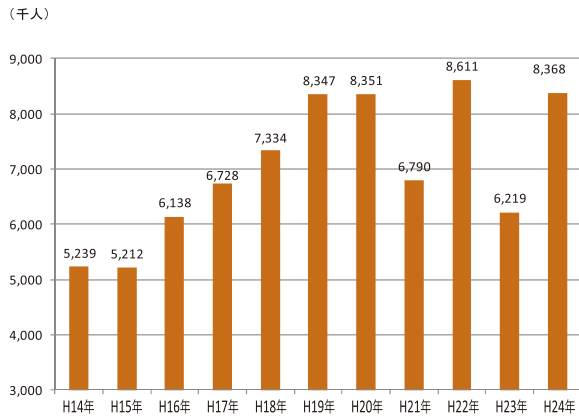


出典：総務省統計局「国勢調査」

- ・札幌市の人口は平成 27 年(2015 年)をピークに減少に転じる。
- ・少子高齢化が進み、高齢化率は、平成 27 年(2015 年)からの 10 年間で 25.1% から 30.5%へと上昇する見込み。

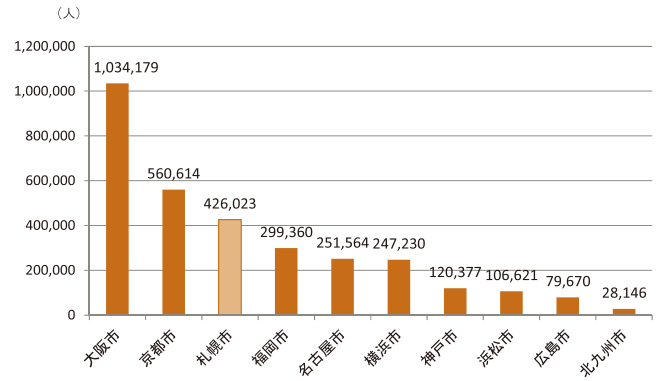
### (3)札幌の観光の状況

図 3-1 訪日外客数(全国)



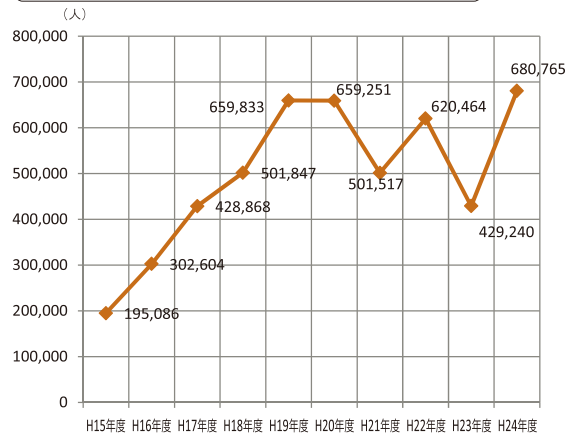
出典：日本政府観光局(JNTO)

図 3-2 外国人実宿泊者数政令市比較  
(平成 24 年度、上位 10 都市)



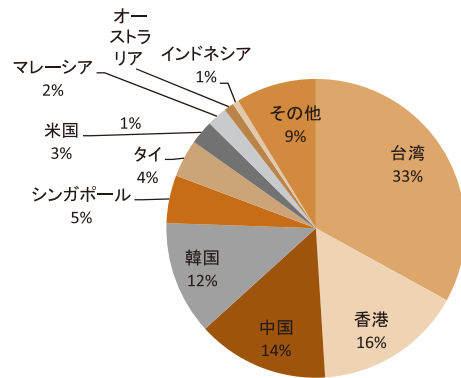
出典：観光庁

図 3-3 札幌市の外国人実宿泊者数の推移



出典：札幌市

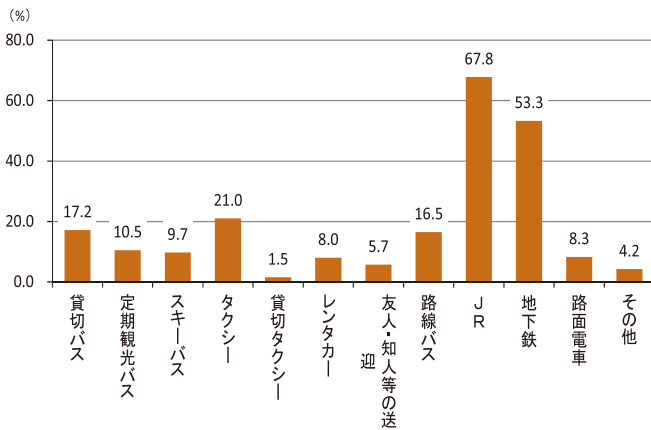
図 3-4 札幌の発地別外国人実宿泊者数



出典：札幌市(平成 24 年度)

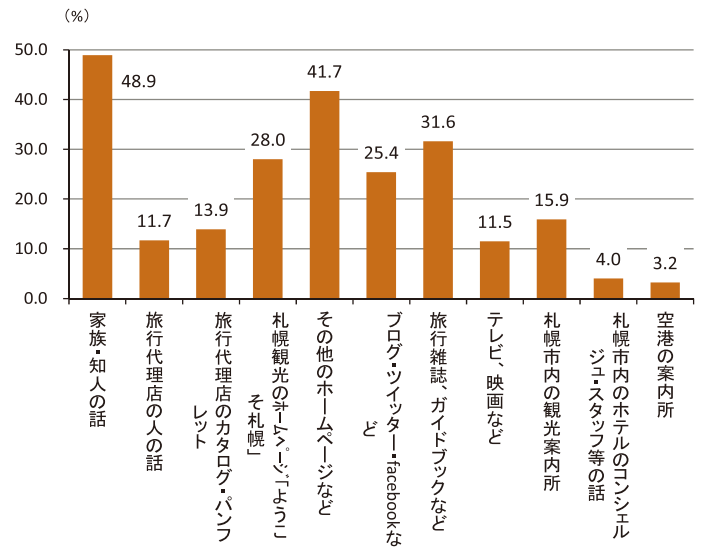
- ・札幌の外国人宿泊者数は、平成 20 年度(2008 年)ころまでは、国の施策と連動し順調に推移してきたが、新型インフルエンザの流行(2009 年)や東日本大震災に伴う原子力発電所事故(2011 年)などの影響を大きく受け、一進一退を繰り返している状況となっている。
- ・平成 24 年度には外国人宿泊者数が 68 万人を超え、過去最高となった。
- ・発地別では、台湾、韓国、香港、中国の東アジアが 8 割を占めている。

図 3-5 札幌滞在中の交通手段



出典：札幌市「来札観光客満足度調査・外国人個人観光客動態調査報告書(平成 23 年 2 月調査)」

図 3-6 札幌の観光情報の入手方法



出典：札幌市「来札観光客満足度調査・外国人個人観光客動態調査報告書(平成 23 年 2 月調査)」

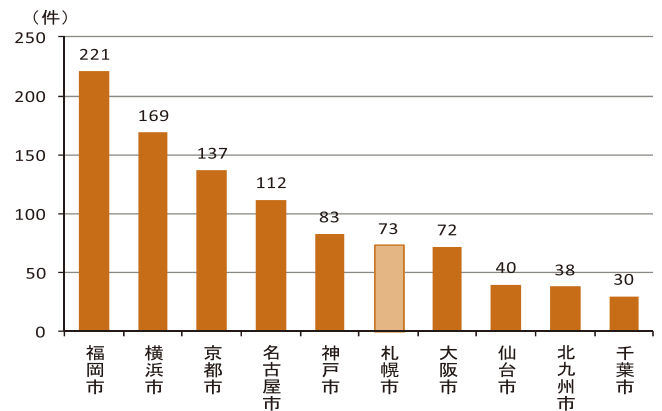
表 3-1 国際航空路線(新千歳空港発着)

都市	所要時間	便数
北京	3時間50分	週 2便
グアム	4時間40分	週 2便
香港	4時間50分	週 4便
釜山	2時間20分	週 3便
ソウル	2時間45分	週 21便
上海	3時間15分	週 5便
台北	3時間50分	週 16便
ホノルル	7時間30分	週 3便
バンコク	7時間	週 7便
ユゾサハンスク	1時間20分	週 2便

※所要時間は目安 (平成25年10月1日現在)

出典：札幌市

図 3-7 国際会議開催状況



出典：日本政府観光局(JNTO)(平成 23 年)

- ・アンケートでは、札幌滞在中の交通手段として公共交通機関の割合が高い。
- ・観光情報の入手方法では、家族や知人の話が一位のほか、ホームページやブログ・SNSなどの利用の割合が高い。
- ・新千歳空港からの海外への直行便は東アジアへの都市が多くを占めている。
- ・国際会議の開催状況では政令市中6位となっている。

表 3 2 - 日本の観光地の認知度

訪日経験→	韓国			北京			上海			台湾			香港			タイ			マレーシア			インドネシア		
	なし	1回	2回以上	なし	1回	2回以上	なし	1回	2回以上	なし	1回	2回以上	なし	1回	2回以上	なし	1回	2回以上	なし	1回	2回以上	なし	1回	2回以上
サンプル数	231	119	150	235	134	131	194	152	154	173	125	202	160	101	239	361	83	81	414	63	50	407	56	37
東京	59%	71%	83%	68%	90%	82%	66%	88%	75%	79%	81%	88%	68%	85%	92%	70%	86%	90%	70%	84%	82%	66%	89%	81%
富士山	61%	66%	71%	74%	84%	80%	75%	90%	76%	79%	73%	83%	68%	68%	85%	75%	83%	80%	76%	79%	82%	64%	77%	78%
箱根	14%	21%	41%	16%	31%	28%	24%	40%	29%	51%	61%	70%	33%	38%	64%	8%	30%	46%	4%	17%	24%	3%	5%	14%
日光	2%	5%	27%	11%	26%	37%	10%	17%	34%	18%	22%	41%	6%	10%	24%	2%	19%	43%	7%	13%	20%	5%	13%	24%
松本	6%	3%	10%	14%	30%	34%	15%	20%	31%	12%	5%	14%	2%	1%	5%	5%	11%	17%	8%	11%	12%	5%	4%	11%
北海道	48%	50%	67%	64%	81%	78%	73%	82%	75%	84%	85%	88%	68%	72%	83%	61%	64%	72%	60%	65%	56%	36%	50%	49%
札幌	63%	55%	74%	41%	61%	57%	41%	54%	56%	67%	76%	82%	57%	59%	80%	36%	47%	51%	21%	32%	36%	25%	27%	46%
函館	7%	13%	29%	11%	25%	34%	11%	18%	29%	39%	51%	68%	21%	21%	62%	4%	12%	20%	4%	10%	14%	3%	2%	14%
十勝	0%	3%	9%	4%	15%	27%	6%	13%	20%	10%	11%	28%	23%	16%	38%	2%	5%	11%	3%	10%	10%	2%	2%	0%
ニセコ	1%	4%	7%	7%	20%	37%	9%	18%	28%	3%	3%	7%	3%	2%	11%	2%	6%	6%	2%	6%	2%	1%	0%	3%
東北	3%	3%	18%	6%	12%	24%	8%	14%	17%	13%	16%	33%	9%	10%	31%	1%	4%	21%	2%	14%	6%	2%	5%	8%
青森	25%	25%	43%	9%	22%	23%	11%	20%	25%	44%	41%	55%	24%	25%	50%	6%	8%	20%	4%	13%	10%	4%	0%	11%
仙台	23%	13%	38%	36%	61%	61%	34%	60%	48%	53%	53%	66%	44%	36%	71%	29%	31%	48%	18%	22%	26%	9%	18%	22%
松島	3%	4%	11%	19%	28%	34%	14%	28%	34%	10%	10%	21%	14%	11%	35%	4%	6%	19%	8%	14%	6%	6%	5%	11%
新潟	7%	7%	22%	15%	26%	26%	21%	34%	27%	43%	39%	53%	27%	22%	40%	11%	12%	17%	9%	14%	12%	7%	11%	8%
北陸	1%	3%	13%	3%	14%	24%	5%	15%	21%	3%	10%	17%	3%	4%	9%	1%	2%	10%	3%	11%	2%	1%	2%	5%
金沢	3%	5%	17%	8%	13%	21%	8%	16%	16%	12%	22%	31%	8%	8%	26%	4%	7%	10%	4%	11%	6%	7%	4%	30%
立山/黒部	1%	3%	15%	2%	7%	19%	6%	8%	15%	26%	38%	51%	12%	14%	38%	2%	5%	11%	3%	6%	2%	1%	4%	11%
富山	2%	4%	15%	23%	46%	50%	32%	43%	51%	19%	21%	32%	22%	18%	40%	3%	14%	10%	9%	14%	10%	4%	4%	24%
名古屋	48%	48%	61%	58%	77%	76%	64%	76%	63%	73%	75%	84%	59%	60%	78%	34%	49%	59%	43%	51%	52%	50%	45%	57%
伊勢	1%	4%	9%	11%	16%	19%	14%	19%	27%	34%	38%	46%	23%	21%	44%	2%	7%	7%	4%	5%	12%	3%	4%	11%
飛騨/高山	2%	5%	11%	3%	9%	15%	4%	9%	19%	17%	30%	41%	1%	4%	19%	1%	5%	14%	2%	6%	4%	2%	2%	11%
関西	28%	32%	46%	24%	34%	41%	29%	45%	45%	55%	62%	66%	44%	34%	56%	33%	33%	51%	17%	24%	40%	15%	21%	32%
京都	57%	73%	77%	56%	76%	74%	60%	79%	78%	73%	79%	84%	49%	56%	77%	57%	70%	78%	44%	57%	76%	52%	70%	62%
奈良	31%	38%	51%	39%	56%	53%	41%	63%	55%	47%	57%	67%	35%	41%	64%	18%	31%	43%	8%	19%	30%	6%	25%	30%
大阪	60%	67%	78%	60%	80%	73%	64%	85%	73%	75%	78%	85%	64%	68%	84%	60%	64%	83%	61%	70%	74%	56%	73%	73%
神戸	51%	48%	67%	57%	81%	69%	55%	73%	73%	69%	69%	77%	61%	52%	74%	41%	46%	52%	40%	43%	54%	37%	41%	57%
岡山	11%	9%	23%	12%	25%	27%	16%	26%	27%	27%	26%	33%	14%	11%	22%	7%	11%	19%	6%	11%	14%	11%	7%	30%
広島	42%	33%	48%	47%	62%	53%	44%	57%	51%	54%	54%	59%	37%	32%	49%	43%	43%	53%	43%	44%	50%	43%	55%	62%
山陰	0%	3%	6%	5%	11%	18%	8%	14%	12%	6%	6%	16%	3%	3%	9%	1%	5%	6%	1%	3%	2%	1%	2%	3%
鳥取	22%	20%	39%	9%	14%	19%	12%	21%	21%	17%	23%	36%	8%	14%	26%	2%	1%	9%	1%	8%	6%	1%	0%	11%
島根	6%	13%	22%	8%	20%	22%	9%	20%	25%	7%	10%	18%	4%	2%	13%	1%	5%	6%	2%	6%	6%	2%	0%	8%
四国	6%	5%	21%	27%	44%	47%	23%	38%	38%	42%	45%	50%	31%	18%	42%	12%	13%	19%	7%	16%	12%	8%	9%	14%
高松	2%	1%	11%	6%	13%	27%	6%	15%	23%	3%	6%	19%	6%	5%	11%	2%	8%	10%	5%	14%	4%	2%	7%	11%
高知	1%	6%	9%	3%	10%	21%	5%	13%	17%	12%	14%	26%	6%	7%	16%	2%	4%	7%	4%	10%	6%	1%	0%	8%
松山/道後	4%	8%	13%	9%	20%	22%	10%	14%	24%	5%	6%	13%	10%	5%	16%	4%	10%	14%	4%	8%	4%	5%	11%	14%
九州	52%	50%	58%	36%	51%	56%	41%	53%	51%	68%	62%	75%	59%	52%	74%	30%	30%	36%	23%	30%	28%	13%	18%	24%
福岡/博多	48%	53%	64%	35%	46%	49%	38%	42%	51%	54%	50%	61%	36%	36%	64%	25%	36%	47%	21%	24%	24%	17%	30%	35%
長崎	41%	34%	47%	41%	54%	47%	42%	59%	50%	62%	58%	67%	48%	39%	61%	39%	47%	51%	35%	37%	40%	40%	34%	49%
別府/湯布院	29%	36%	47%	6%	10%	17%	5%	9%	21%	9%	13%	27%	21%	14%	43%	1%	6%	14%	1%	3%	4%	2%	2%	22%
阿蘇	5%	10%	25%	3%	10%	15%	4%	11%	16%	3%	7%	25%	4%	11%	38%	0%	2%	7%	2%	5%	2%	1%	2%	14%
宮崎	22%	20%	33%	37%	45%	49%	29%	41%	47%	45%	38%	46%	40%	29%	55%	11%	11%	21%	15%	10%	16%	3%	11%	16%
鹿児島	23%	29%	32%	35%	46%	47%	38%	62%	50%	62%	58%	71%	56%	49%	71%	4%	8%	7%	10%	16%	18%	5%	11%	11%
沖縄	45%	50%	61%	56%	67%	67%	56%	76%	65%	77%	74%	82%	61%	58%	74%	40%	34%	47%	39%	30%	42%	33%	32%	35%
知っている場所はない	13%	3%	1%	5%	0%	0%	5%	0%	0%	3%	2%	0%	4%	0%	0%	7%	1%	0%	9%	0%	2%	18%	2%	0%

出所: 日本政策投資銀行「アジア 8 地域・訪日外国人旅行者の意向調査」(平成 24 年 12 月)

※インターネットによる調査(平成 24 年 10 月実施、有効回答数: 計 4,000 人)

- ・北海道は観光地としてアジア地域でトップレベルのブランド力を有する。
- ・相対的に札幌の認知度は東南アジアで低い。



## (4)札幌の経済の状況

表 4-1 札幌市内企業の海外進出拠点

地域	企業数	内 訳
北東アジア	75	中国59、台湾9、韓国6、モンゴル1
東南アジア	17	タイ5、フィリピン3、ベトナム3、シンガポール2、マレーシア2、インド2
北米	9	米国8、カナダ1
欧州	3	フランス1、フィンランド1、オーストリア1
ロシア・CIS	6	ロシア6
中東	1	カタール1
オセアニア	3	オーストラリア3
アフリカ	1	エジプト1
総計	115	

出典：(独)日本貿易振興機構(JETRO)北海道「道内の海外企業進出リスト」(平成22年3月)

表 4-2 都道府県別外資系企業の状況

順位	都道府県	企業数	順位	都道府県	企業数
1	東京都	2,139	15	新潟県、山梨県 など3県	11
2	神奈川県	300	18	群馬県	10
3	大阪府	186	19	福島県	8
4	兵庫県	82	20	長野県	7
5	千葉県	67	21	岩手県、岐阜県 など3県	6
6	愛知県	61	24	石川県、奈良県 など4県	5
7	埼玉県	56	28	福井県、岡山県 など3県	4
8	茨城県、静岡県	23	31	宮城県	3
10	福岡県	22	32	青森県、山形県 など7県	2
11	京都府	16	39	秋田県、和歌山県 など4県	1
12	三重県	14	40	鳥取県、香川県 など5県	0
13	北海道、栃木県	12			

出典：経済産業省「外資系企業動向調査」(H22年度実績)

表 4-3 外資系企業数の推移(主な都道府県)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
北海道	4	6	6	4	3	3	5	3	3	7	12
宮城県	2	-	2	2	2	4	3	4	6	5	3
埼玉県	14	18	20	20	25	39	38	54	54	51	56
千葉県	27	28	35	32	34	40	48	61	67	61	67
東京都	1,161	1,161	1,305	1,440	1,564	1,674	1,891	2,018	1,905	2,100	2,139
神奈川県	159	174	183	201	224	228	248	289	262	258	300
新潟県	3	3	7	4	7	6	5	8	9	7	11
静岡県	14	11	13	15	16	17	21	23	17	20	23
愛知県	19	18	21	34	35	43	43	54	50	45	61
京都府	12	10	6	6	8	11	12	15	11	11	16
大阪府	118	119	126	136	147	161	157	187	167	166	186
兵庫県	41	50	55	57	61	68	75	87	76	85	82
岡山県	-	2	1	1	-	-	-	-	2	3	4
広島県	4	4	3	4	6	7	8	10	10	9	11
福岡県	9	7	7	9	11	10	11	12	14	13	22

出典：経済産業省「外資系企業動向調査」(H22年度実績)

- ・札幌市内企業の海外進出拠点のうち、65%は北東アジア地域。
- ・外資系企業の多くが首都圏に進出しており、北海道へ進出している外資系企業は 12 企業。

図 4-1 北海道内港からの輸出の内訳

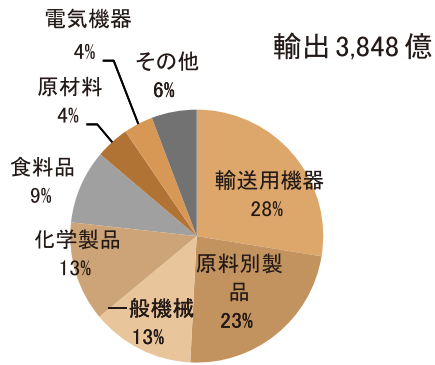
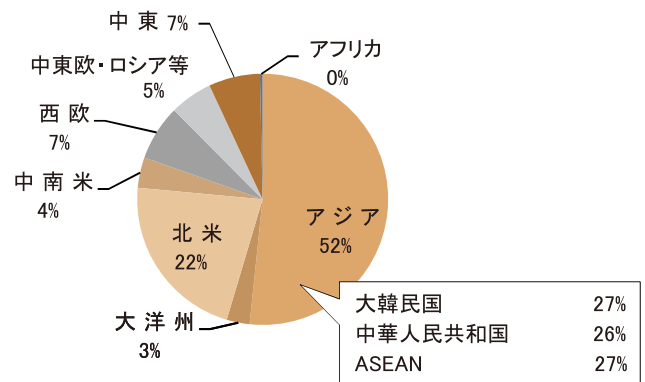


図 4-2 道内地域(国)別輸出実績



出典: 函館税関「北海道貿易概況」(平成 24 年)

出典: 函館税関「北海道貿易概況」(平成 24 年)

・道内からの輸出先は 52%がアジアで、そのうち韓国、中国、ASEAN で 8 割を占める。